

みずほCustomer Desk Report 2018/08/07 号(As of 2018/08/06)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	111.27 AUD/USD
TKY 9:00AM	111.23	1.1561	128.58	1.3000	0.7394
SYD-NY High	111.53	1.1575	128.87	1.3005	0.7405
SYD-NY Low	111.16	1.1530	128.51	1.2920	0.7374
NY 5:00 PM	111.40	1.1553	128.69	1.2942	0.7387
NY DOW	25,502.18	39.60	日本2年債	-0.1100	0.00bp
NASDAQ	7,859.68	47.66	日本10年債	0.1000	▲1.00bp
S&P	2,850.40	10.05	米国2年債	2.6473	0.41bp
日経平均	22,507.32	▲17.86	米国5年債	2.8083	▲0.51bp
TOPIX	1,732.90	▲9.68	米国10年債	2.9442	▲0.55bp
シカゴ日経先物	22,545.00	▲35.00	独10年債	0.3880	▲2.05bp
ロンドンFT	7,663.78	4.68	英10年債	1.3025	▲2.50bp
DAX	12,598.21	▲17.55	豪10年債	2.6865	▲3.80bp
ハンセン指数	27,819.56	143.24	USDJPY 1M Vol	6.35	▲0.03%
上海総合	2,705.16	▲35.29	USDJPY 3M Vol	7.16	▲0.09%
NY金	1,217.70	▲5.50	USDJPY 6M Vol	7.57	▲0.08%
WTI	69.01	0.52	USDJPY 1M 25RR	-0.83	Yen Call Over
CRB指数	193.93	0.70	EURJPY 3M Vol	8.12	0.07%
ドルインデックス	95.36	0.21	EURJPY 6M Vol	8.53	0.05%

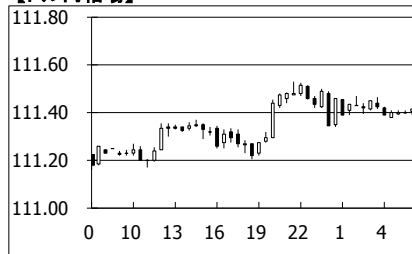
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月6日	15:00	独 製造業受注(前月比)	6月 -4.0%	-0.5%
	16:30	独 マークイット建設業PMI	7月 50	-

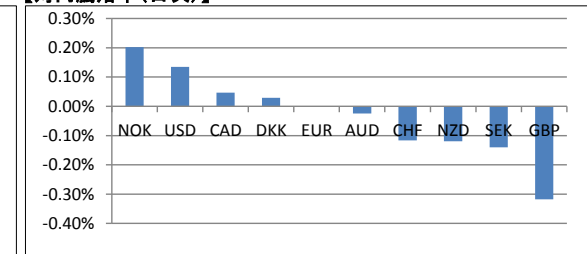
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月7日	13:30	豪 RBAキャッシュレート	-	1.5%
	15:00	独 鉱工業生産(前月比)	6月 -0.5%	2.6%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.00-112.00	1.1500-1.1600	128.00-129.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場は、ドイツ製造業受注指数が予想対比で大きく下振れたことなどからユーロが弱含む中、ドルが上昇。また、米株が堅調に推移したことも材料にドル円は底堅く推移。リスク資産は底堅いものの、引き続き日米通商協議などを控えて、積極的なドル買いには傾きづらいと予想。

アジア	先週、中国人民銀行が為替先物取引の準備率を引き上げたことや中国政府が約600億ドル相当の米輸入品に対して25%の関税を課す可能性を明らかにしたことで、米中貿易懸念が強まる中、朝方のドル円は111.16まで下落し、東京時間は111.23レベルでオープン。前日比プラス圏でオープンした日経平均株価がマイナスイ圏に下落する中、ドル円も小幅に下落。その後、先週末まで軟調推移が続いた人民元相場が買い戻しの動きにやや強含む場面が見られ、前日比マイナスイ圏でのオープンとなった中国上海株もプラス圏に浮上すると日経平均株価もプラス圏へ反発、ドル円は111.37まで上値の伸びず展開。結局111.26レベルで海外へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は111.26レベルでオープン。東京時間の流れを引き継ぎ朝方はややレベルを下げる展開。その後はポンドが約11ヶ月ぶりの安値圏まで売られると、ユーロも連れ安となって全般的なドル買い優勢地合いとなると、ドル円はこの日の高値をなる111.53まで上昇し、111.48レベルでNYに渡った。ユーロは1.1556レベルでオープン、ポンド売りに連れる格好にユーロ相場も軟調推移し、1.1530まで下落。その後は買い戻しの動きに徐々に値を戻す展開となるも、結局1.1542レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	週末に、英紙インタビューでフォックス英国国際貿易相が「EUとの合意が成立しないまま、英国がEUを離脱する確率が60%」との認識を示したことを受けてポンド売りが強まったことや(ポンドは2017年9月以来約11ヶ月ぶりの安値まで下落)、独6月鉱工業受注指数が約1年半ぶりの弱い結果となったことを受けてユーロ売りが強まったこと等から、対欧州通貨でのドル買いにサポートされてドル円は111.53円まで上昇し、111.48レベルでNYオープン。朝方は米長期金利が約2週間ぶりに2.93%を割り込み低下したことから、ドル売りが強まり111.34まで下落。しかし、米中貿易問題激化への懸念から安値寄りした米株が、良好な企業決算を好感してプラス圏に浮上して上げ幅を拡大させると、米金利とドル円も反発。しかしその後は手がかり難の中、111.40付近で膠着状態となり、結局そのまま111.40レベルでクロス。なお、この日NAFTA交渉への楽観的な見方が強まったことから、メキシコペソは対ドルで今年4月以来的水準まで上昇した。一方、ユーロドルはロンドン時間に発表された弱い独経済指標の結果を受けて今年6月28日以来となる1.1530まで下落し、1.1542レベルでNYオープン。値ごろ感からの買い戻しや米金利低下にサポートされ、1.1571まで反発したものの依然として上値は重く、結局1.1553レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 百瀬・鶴田